



## みんなやっているし の みんなとは 誰のこと

校長 夏見隆晴

新しい学年が始まって、早くも一カ月が経ちました。新しい学校、新しい学級、新しい先生と、身の環境が変化した子供さんたちも多くいることでしょう。環境の変化というものは、大人にとっても疲労感をもたらすものですが、子供たちにとってはもっと大変なことです。けれども、考えてみれば新しい環境を引き受けて前へ進むことによって、わたしたちは成長を遂げているのです。それなら、進んでわたしたちは自らも望んで、新しい環境での生活を楽しむ努力をしてみようか。

ところで「みんなやっているし」という言葉は、あまり良いようには使われません。悪いと思われることをして注意されても、「みんなやっていることだし、それにたいしたことでもないし、なんでそんなに言われなきゃならないんだ」と、男の子は少しばかり粹がって使うし、女の子はもう少し上品な言葉使いにはなるが、やはり「みんな」を引き合いに出して、自己を正当化することが多いように思います。彼ら、彼女らの「みんな」は、本当は小さな仲間社会を指しているにしかすぎません。

中学生や高校生が「社会」の存在に目覚め、それと意識的に向き合うことは非常に大切なことです。今までの日本の社会は、もしかしたらあまりにも小さな社会の中だけでの幸福を追い求めすぎたのかもしれない。その影響が、「みんな」という小さな社会の中だけで生きていければよいのだという意識にさせてしまったのでしょうか。ところが、現在では「世界」が狭くなり、日本でもグローバル化が叫ばれ、そうした社会での学力のあり方が問われるようになりました。

地球が狭くなり、人や物の交流が当たり前の世の中になってきた現在では、従来の日本語で使ってきた「みんな」の見直しをせざるを得なくなってきたことを、わたしたちはもっと意識して行動に移す必要があります。現代社会の動きを、少しでも意識的に捉えようとするなら、すぐに理解出来ることですが、「世界」はかつての諸国の間にあった壁は取り払われたり低くされたりしております。そんな現代社会を生き抜く必要のある若者は、自分たちの周囲に廻らされた「みんな」などという壁を盾にはしないのです。

むしろ、世界の若い「みんな」は、必死になって自分たちの世界を拓けようと努力しています。そのためには、習得するのが難しいと言われている日本語にも、多くの若者が果敢に挑戦しています。若い力に漲っているわたしたちの生徒にも、ちっぽけな仲間の「みんな」などではなく、大きく世界に目を向けて、世界の「みんな」がやっていることだから、われわれも負けずにやれるはずだ、と大志を持って欲しいものです。広い世界で大志を抱いて日々頑張っていて何かを成し遂げている若者こそが、競争相手なのです。

先月一通の手紙が届きました。中学校時代の担任からの手紙です。近頃、DMか季節の葉書等しか届くことがありませんから、思わず良くない知らせかと身構えたのですが、封を開けて出てきたのは、一枚の手紙と、一枚の新聞でした。新聞といっても、中学時代に十年後の自分に宛てた、手書きの「自分史新聞」というものです。新聞の内容は気恥ずかしいこと限りないものですが、もう一枚の先生の手紙と、何よりも先生が忘れずに生徒全員に送ってくれたことが嬉しく、読みながら自然と笑みが浮かびました。

そのことでふと思い出しましたので、ある教師が元教え子に出した手紙の、次の一節をご紹介します。

「(前略) —風の中を自由にあるけるとか、はっきりした声で何時間も話ができるとか、じぶんの兄弟のために何円かを手伝へるとかいうようなことはできないものから見れば神の業にも均しいものです。そんなことはもう人間の当然の権利だなどという考えでは、本気に観察した世界の実際と余り遠いものです。どうか今の生活を大切にお護り下さい。上のそらでなしに、しっかり落ちついて、一時の感激や興奮を避け、楽しめるものは楽しみ、苦しまなければならないものは苦しんで生きて行きませう。いろいろ生意気なことを書きました。病苦に免じて赦して下さい。それでも今年心配したやうでなしに作もよくて実にお互い心強いではありませんか。また書きます。」

農業高校で教鞭を取っていた宮沢賢治が、その死の10日前に出した最後の手紙です。彼はその後、二度と手紙を出すことはできませんでした。さて、この言葉——「楽しめるものは楽しみ、苦しまなければならないものは苦しんで生きて行きませう。」——を、どのように解釈されるでしょうか。死を前にした諦念のようにも受け取れる言葉ですが、私には、また別の温かさをもって感じられました。皆さんにはどうでしょう。

私も早く、教え子にすてきな手紙を出せるようになりたいものです。

## 5月の予定



日・曜日	行事計画
7日(土)	授業
9日(月)	中1宿泊研修 ~10日(火)
11日(水)	職員会議
13日(金)	歯科検診
14日(土)	聖母祭 PUP③(進路講演会)
17日(火)	第1回定期試験 ~18日(水) ※高校生は19日(木)まで
18日(水)	小学校6年生対象中高部活紹介
21日(土)	家庭学習日 基礎小論模試(高3希望者対象)
25日(水)	生徒会選挙(終了後清掃・終礼) □下校は通常より遅れることが予想されます。
27日(金)	高校総体総合開会式 ~5/29
28日(土)	授業

# 聖母祭のご案内



5月14日（土）、8時30分より、カトリック真栄原教会にて聖母祭ミサに与ります。  
特に保護者の皆様宛てに通知文や出席票は配布しておりませんが、参加を希望される保護者の方は、お子様を通して学級担任に一言お知らせください。

駐車場は教会駐車場を予定しています。もし変更の場合には、当日、立て看板か教員の誘導によりご案内いたします。

## 【保護者の皆様へ】

ライオン株式会社様のご好意により、5月14日の聖母祭の日に食器用洗剤「チャーミ マジカ」を母の日のプレゼントとして感謝の気持ちと共に生徒がお届けしますので、ご使用頂けるとありがたいです。

